

成績管理システム ビジネス要件定義書

1. プロジェクト概要
 - システム名: 成績管理システム
 - 目的: 教師の成績管理効率化
 - 対象: 小〜大学教師
 - 範囲: 成績入力・集計・分析・出力
2. ビジネス目標
 - 事務作業50%削減
 - 計算正確性100%
 - 処理時間1/3短縮
 - 6ヶ月で100校・1000名利用
3. 機能要件

3.1 ユーザー管理
 - 登録・ログイン、学校情報管理、権限設定

3.2 生徒管理
 - 基本情報登録・編集、CSV入出力

3.3 成績管理
 - 科目別入力、複数テスト対応、一括入力、自動保存、履歴記録

3.4 計算・集計
 - 平均・合計・順位・偏差値・分布

3.5 分析・可視化
 - ヒストグラム、推移グラフ、比較分析、ダッシュボード

3.6 出力
 - 個人成績表・クラス一覧 (PDF/Excel)、高設定料

3.7 データ管理
 - 過去データ保存・検索、バックアップ
4. 非機能要件

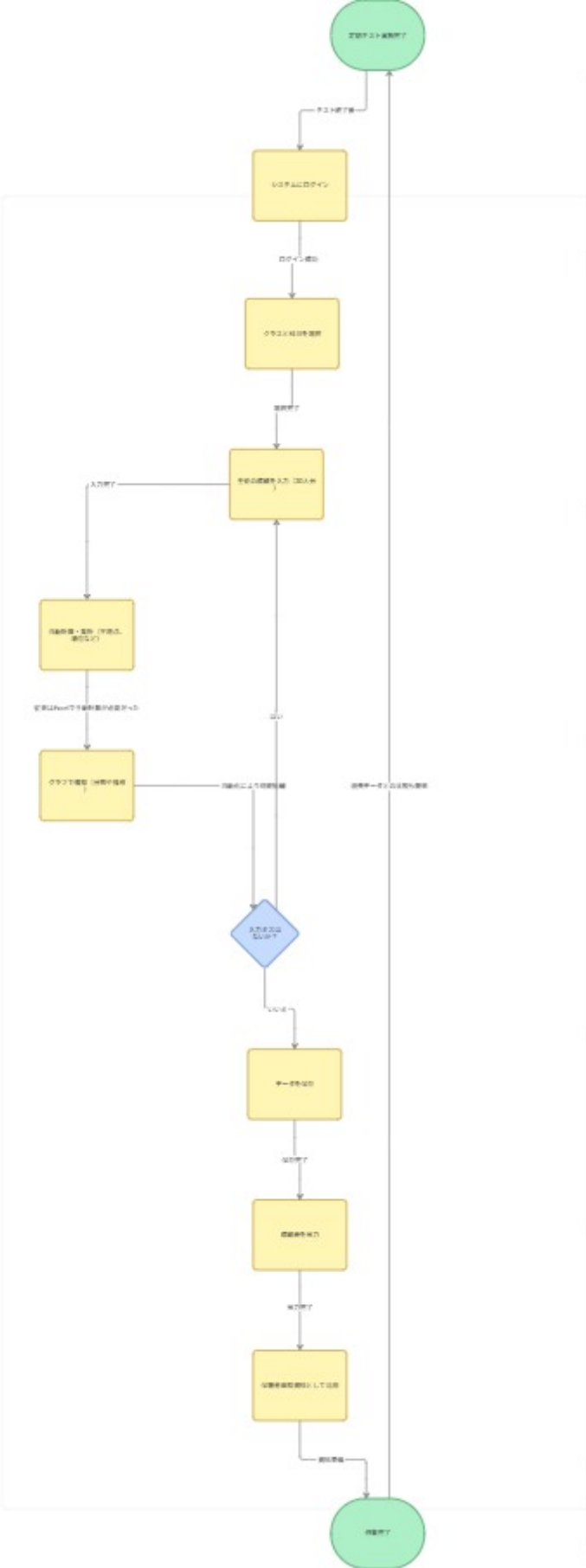
4.1 パフォーマンス
 - 150名処理3秒以内、同時100ユーザー

4.2 セキュリティ
 - SSL/TLS、パスワード暗号化、2段階認証、個人情報保護法準拠

4.3 可用性
 - 稼働率99%、24/365運用、日次バックアップ

4.4 ユーザビリティ
 - 直感的UI、レスポンス性対応、ヘルプ機能

4.5 拡張性・保守性
 - 機能追加容易、API連携対応、エラーログ管理
5. 制約条件
 - 開発期間: 6ヶ月
 - 対応: Chrome/Firefox/Safari/Edge最新版
 - データ保存: 5年
6. リスク対応
 - データ移行 → ツール・サポート提供
 - セキュリティ → 診断・パッチ適用
 - ITリテラシー → マニュアル・窓口
7. KPI
 - 6ヶ月で1000名登録、月間利用率80%、満足度4.0以上、作業時間50%削減
8. 今後の検討
 - 出席・課外管理、保護者ポータル、モバイルアプリ、AI分析



	分析項目	内容	
1	ターゲット市場	高校・大学をメインに、小中学校でも利用可能な成績管理システム。1クラス30人×5クラス（約150人）規模を想定	
2	市場機会	教師の事務作業負担軽減、デジタル化推進、リモート授業対応、成績データの一元管理ニーズ	
3	主な競合	Excel/Googleスプレッドシート（無料だが手動管理）、校務支援システム（高価で導入ハードルが高い）、既存の成績管理ソフト	
4	差別化ポイント	シンプルで直感的なUI、小中高大すべてに対応、手頃な価格設定、個人教師でも導入可能	
5	課題・リスク	既存システムからの移行コスト、データセキュリティへの懸念、学校単位での導入承認プロセス	
+			